

Press Release



2015年11月30日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは11月26日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

2018年未まで契約を延長

コベストロ、ソーラー・インパルスとのパートナーシップを 継続

- 「Future is clean」イニシアチブも支援

ドイツ・レバークゼン、2015年11月26日－

革新的な高機能ポリマー材料のリーディングサプライヤーであるコベストロは、2016年に世界一周飛行を完了する予定のソーラー・インパルスとのスポンサーシップを延長すると発表しました。

コベストロ（旧バイエル マテリアルサイエンス）は2010年以来、ソーラー・インパルス・プロジェクトの公式パートナー、さらにはテクニカルパートナーです。コックピットシェル全設計と製造を担当、最先端のポリウレタンとポリカーボネートのシステムを使用して機体を著しく軽量化しながらもパイロットの飛行中の負担を軽減することに貢献しました。

「当社の社員とお客様にとって、ソーラー・インパルス・プロジェクトはイノベーションの象徴であるだけでなく、幅広い革新的ソリューションを提供したコベストロの実力を象徴するものでもあります。人々に感動を与えるこのプロジェクトを引き続き支援できることは光栄です。また、プ



ロジェクトは、当社の3つのバリュー『好奇心』、『勇気』、『精彩』を表現しています」とコベストロ CEO のパトリック・トーマスは述べています。

持続可能性へのコミットメント

「持続可能性は、当社の事業戦略の中心に位置しています。ソーラー・インパルスとのパートナーシップの継続は、2016年春に再開される世界一周飛行における、アメリカ横断区間のリーディングスポンサーとしての役割も含まれます。より多くの消費者がエネルギー効率の高い製品を求めようになるにつれて、各国政府は国連の持続可能な開発目標を法制化するようになりました。ソーラー・インパルスは、多くの人々が不可能と考えることを実現するために現在の技術がどう貢献できるかを世界に示すという極めて大きな役割を果たすことになるでしょう」と、コベストロのチーフ・サステナビリティ・オフィサー、リチャード・ノースコートは述べました。

ソーラー・インパルスのために開発された技術は、すでに自動車や冷蔵・冷凍庫のような家電分野など日常製品に使用されています。また、飛行機に使用されているコーティングはすでに他の分野でも採用されています。

コベストロとソーラー・インパルスとの緊密な協力関係

ソーラー・インパルス・プロジェクトの発案者であり、会長、パイロットでもあるベルトラン・ピカール氏は、「世界一周飛行が遅れたため、新社名のコベストロとしても私たちと共に飛行しコベストロの製品が機体にどれだけ重要な貢献をしているかを示すことができます。全てのパートナーは、よりクリーンな未来というビジョンを共有しています。この度パトリック・トーマスをはじめコベストロチームが引き続き協力していただけることが決まり、このビジョン達成に向けたコミットメントを確認することができました」と述べました。

ソーラー・インパルス・プロジェクトの共同創立者であり、CEO、パイロットでもあるアンドレ・ボルシュベルグ氏は「私たちは2010年から続くコベストロの技術アドバイス、コミットメントおよび革新的精神を高く評価しています。今後3年間もより緊密に協力することを楽しみにしています」と述べています。

さらに「コベストロが Si2 (ソーラー・インパルス 2 号機) のために設計したコックピットは、ベルトランも私もとても快適で飛行しやすい環境だったと実際に操縦して感じました。2016年に世界一周飛行を再開する際、また同じコックピットで飛行できると思うと楽しみです」と付け加えました。



コベストロは、ソーラー・インパルスの「Future is Clean」イニシアチブもサポートしています。国連の持続可能な開発目標の批准、また、この12月の国連の気候変動会議（COP21）に先立ち、クリーンエネルギーの使用について世界中から支持を集めています。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は2014年度売上高が118億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストログループ（旧バイエルマテリアルサイエンス）は2015年9月末現在、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は15,700人です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

ソーラー・インパルスについて

クリーンな技術革命: 無燃料飛行機

スイス人のベルトラント・ピカール氏（会長）とアンドレ・ボルシュベルグ氏（CEO）は、ソーラー・インパルスの設立者であり、パイロット、原動力です。ソーラー・インパルスは、1滴の燃料も使用せず太陽光のみで昼夜の飛行ができる初めての飛行機です。Si2で太陽光を唯一の動力源として世界一周飛行を試みます。この世界初の挑戦が目標とするのは、クリーンな技術によって不可能だったことも可能に変えられるのを証明することです。

8つの世界記録を保持するソーラー・インパルス1号機のプロトタイプの後を継ぎ、Si2のエンジニアはカーボンファイバーを使用した一人乗り飛行機を設計、製造しました。ウイングスパンはボーイング747よりも長い72メートル、重量はたったの2,300kgで乗用車と同等です。17,248個の太陽電池を翼に搭載し各17.5CVの電気モーターに再生可能エネルギーを送ります。太陽電池は4つのリチウムポリマーバッテリー633kgに蓄電することにより夜間飛行を可能にします。よって事実上、無制限に単独飛行できることとなります。

詳しい情報はこちらをご覧ください。 www.solarimpulse.com

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル23F

広報部 梅澤 Tel:03-6250-7079 / Fax:03-5219-9706

将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストログループによる現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。